



# 防災にふれあう会 in シーズ『防災教室』

徳島県阿南市 障害者支援施設シーズ  
生活支援員 船城 慎也



## 1 社会福祉法人悠林舎シーズ

徳島県阿南市にある社会福祉法人悠林舎シーズは、第1種社会福祉事業として、「障害者支援施設シーズ」。第2種社会福祉事業として、「共同生活援助事業所グループホーム岡」・「就労移行支援、自立（生活）訓練、就労継続支援B型の3事業を多機能型で実施しているシーズ今津」・「発達障害支援事業所キッズベースシーズ」・「沖浜シーズ保育園」・「シーズ相談支援事業部」・「障害児等療育支援事業」の設置経営を行っております。

## 2 『防災教室』の開催に至った経緯

当施設の開所10周年記念事業として、「防災」をテーマとした参加型イベント「防災にふれあう会 in シーズ『防災教室』」を平成23年度より毎年度開催しています。

現在、当施設をはじめ、多くの施設・事業所が抱える問題の一つとして「南海トラフ大地震」という脅威があります。南海トラフ大地震の発生確率は今後30年以内に70%であり、明日がその日にならない保証はどこにもない危機的な状況にあります。

また、当施設は平成24年度より、阿南市から福祉避難所としての指定を受けております。このイベント「防災教室」を通して当施設が福祉避難所であることの周知に繋げていくことも一つの目的であります。

地域の方々には「障害者施設」という言葉を聞いたことはあっても、そこでどのような人がどのような活動を行っているか知っている人は少ないと想定しました。このイベントを通して少しでも我々の日頃の活動の一端を見て頂き、障害者施設・障害者に対しての理解を少しでも深めて頂きたいと思いました。また有事の際に、職員・利用者・家族だけではなく、地域の方々

も一体となり共助できるようにという願いをこめて開催に至りました。

## 3 開催した内容

防災にふれあう会 in シーズは、平成28年度までに6回に渡り開催してきました。第1回目の開催は、地域住民の方々を対象として気軽に参加して頂くため、ピラ配りやロコミ等で広く宣伝活動を行い参加者を募りました。

第2回目以降は、『防災にふれあう会 in シーズ『防災教室』』と、『防災教室』というタイトルを付け加えることで、知識や情報を一方的に提供するのではなく、「一緒に学びましょう」というスタンスに切り替えました。また、「教室」というタイトルに合わせて、地元の小学校や保育園に声をかけ、対象年齢を引き下げると共に、より子供たちの興味を湧くような内容に変更し、「自由参加型」から「実演・体験型」にシフトすることで参加者の防災への興味関心をより高めることができました。

具体的な内容としましては、ドローンの飛行・撮影見学、徳島県防災人材育成センターの協力による起震車の体験乗車、阿南市消防本部の協力による救急車・消防車・救助工作車の展示・見学・体験乗車を実施していただきました。



阿南市消防本部による緊急車両の展示・説明



起震車の乗車体験

今年は新たな取組として㈱NTTドコモ徳島支店の協力により、移動基地局車の展示・説明。さらにWEB会議システムを利用し阿南市公室と映像中継を行い、阿南市長に防災教室に参加頂きました。中継を通じて市長からコメント頂き、参加した小学生から市長への質問コーナーなどを実施しました。災害時の避難所間等との連絡手段として有益であることを改めて実感しました。



阿南高専名誉教授 湯城豊勝氏による講演



元阿南市防災監 山崎忠雄氏による講演

講演の時間には講師として、我々の地元である那賀川の河川に関する豊富な知識をお持ちである阿南工業専門学校、名誉教授の湯城豊勝氏や、阿南市の元防災監である山崎忠雄氏にご協力を頂いています。

昼食の時間には、「災害時の避難所」を想定して、炊き出し体験を実施しました。

#### 4 開催した成果

同じ地域の中に「障害者支援施設シーズ」という施設があることを知ってもらったと同時に、そこでどのような利用者・職員が在籍し、どのような活動をしているのかを理解頂くことに繋がりました。また、テレビ、新聞などの各種マスコミに取材していただくことで地域の枠を超えて県内外にシーズの取組を発信することができました。

地域の今後を担う子どもたちが「防災教室」に参加し、家に帰り家族と「防災」に関して少しでも話し合ってもらうことで、各家庭で防災に対し取り組むきっかけとなり、家庭内での役割分担、避難場所の取り決めなど災害時の迅速な対応に繋がり、結果として地域全体の防災意識向上につながったと思います。

また、これまでの取組の結果、徳島県知事より未来を守る防災活動賞を受賞。第20回防災まちづくり大賞にて日本防火・防災協会長賞を受賞しました。

#### 5 今後の展開

これまで、阪神・淡路大震災、東日本大震災、南海大地震など、過去に発生した大災害に合わせテーマを決め、過去の被害から学ぶことを目的として開催してきました。今後も継続し実施することで、過去の災害を風化させるのではなく、忘れてはいけないこと、学ばなければならないことを、シーズ利用者・職員、地域住民、子どもたちと一緒に考え、学んでいきたいと思っています。